

トイレ掃除手順

このポケットブックではトイレ掃除の手順と実践方法を解説しています。実習前の予習や確認などに活用ください。さらに工夫できることや、気付けたいところがあれば、次のトイレ掃除で実践してみてください。

感染症予防

- トイレ掃除を実践する上で、感染症の対策を呼びかけています。遵守事項を参考にしてください。
- ① 手洗いや消毒、熱があり、体調不良を感じたとき、手洗いをし、手洗いはトイレ掃除を控えてください。
 - ② 汚物は、直接手で触れることなく、枝付ブラシか手袋をして汚物を除去してから掃除しましょう。
 - ③ 素手は要せず、特に素手には下履の長靴をはき、使用しましょう。
 - ④ 消毒のゴム手袋、長靴は必ず準備し、必要に応じて使用しましょう。
 - ⑤ 掃除前には、プロテクトX1を指先まで念入りに塗り、必要に応じて作業途中でも塗ってください。
 - ⑥ 終了後は、石けんでの手洗いと消毒を必ず行いましょう。

1 備品を運び出す

掃除場所のトイレトーパーや汚物入れ、備品等の備品を一旦トイレの外に運び出します。
※その際、備品の個数や置いてある位置をしっかりと確認し、事前に置き場を決めておきましょう。また、デッキブラシのような柄の長いものは横にして置きましょう。



2 蛍光灯・換気扇をはずす

蛍光灯（カバー共）、換気扇を外し、きれいにします。
蛍光灯だけはトイレ内を明るくするために、拭いてもとに戻しましょう。



- ・トイレ入口に足拭きタオルを敷きます。
- ・トイレ掃除にひとりから前日に窓上などの高い場所からケリやホコリを取り除きます。



3 水渡し・釣鐘をはずす

水渡し、釣鐘を外したら、バケツに入れて決められた場所に運びます。（一箇所を集約して汚れを落とします）

- ※ この作業では、担当者が決まっている場合と、各班から担当者を決める場合とがあります。割り振りやすいので、水渡しフックを利用し、取り外しましょう。



4 大便器を洗う

5 小便器を洗う

6 洗面器の洗い方

7 水渡し・釣鐘の洗い方

なぜトイレ掃除か？

1. 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための実践が、トイレ掃除です。

2. 気付く人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくするために、気付く人になることが大切。気付く人になることによって、無駄がなくなる。その「気付く」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除です。

3. 感動の心を育てる

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人が手と足と心を使い、さらに身を低くして一所懸命に取り組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。

4. 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になります。

5. 心を磨く

心を取り出して磨くわけにいかないの、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

小便器を洗う

- ① 溜まっている尿等をリンダラシで先に洗い流します。
- ② 水渡しの際に固まり残っている尿を落とします。
※ 固まって落ちにくい場合は、ドライバースクレーパー等でこき落とします。器具は必ず傷をつけないよう注意しましょう。
- ③ 「大便器を洗う」の②～④を参考に、それぞれの箇所をきれいにしましょう。



水渡し・釣鐘を洗う

水渡しと釣鐘は落として磨かないように、ゴムマットと新聞紙を敷いて作業しましょう。

＜水渡し＞

- ① スポンジ等で汚れを落とします。
- ② 固まった尿石などの汚れは、スクレーパーや、マイナスドライバーを使用して落とします。
※ 傷つける恐れがあるので注意しましょう。



＜釣鐘＞

- ① こびりついた銹を金ブラシで取り除きます。
- ② しつこい銹は、スクレーパーで落とします。場合によっては、ハンマーでたたいて落とします。
- ③ やスリで磨き終わったら銹止めを吹きかけます。（この作業時は地面を汚さないように新聞紙を活用しましょう）



洗面器の洗い方

- ① 「大便器を洗う」の②～④を参考に、それぞれの箇所をきれいにしましょう。
 - ② 排水状況が悪いときは、ラバーカップを使用し、詰まりの原因となっているゴミや髪の毛を取り除きます。
- ・排水口をラバーカップで塞ぎ、水を溜めます。オーバーフロー（空気の口）の穴も塞ぎ、一気にラバーカップを引っ張ります。
- ※ ラバーカップを押したときだけでなく、引っ張り上げるのがコツ。
- ・ゴミが押し込まれ、水の流れを邪魔してしまう。渦を巻いて、吸い込む音が聞こえたらOKです。



＜洗う順番＞

- ① ドライバー、金物
 - ② 歯ブラシ、サンドメッシュ、ナイロンたわし
 - ③ スポンジ、たわし
- ＜ホースの片付け方＞※3人で行うとよいでしょう
- ① 1人はホースの水気をタオルで拭いていきます。
 - ② もう1人がホースを巻いていきます。
 - ③ 残りの1人が逆側の口を下向きに持ちます。
- ※ 下向きにすることでホースの中の水が流れ出ます。
- 1 目の巻きの位置に印を付けておくと、全て同じ大きさに巻くことができます。



＜タオルの絞る方＞

四つ折りにして、手の甲が下で、両親指が上を向くようにして握り、内側に引っかけて絞ります。

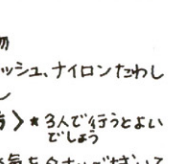


道具を洗う

- ・バケツ3杯の水を用意します。（水の無断使用をしないようにしましょう）
- ・スポンジやたわしなどは、汚れがひどいものは念入りに洗います。次に使うときに匂いが残らないようにしましょう。

＜タイルの絞る方＞

四つ折りにして、手の甲が下で、両親指が上を向くようにして握り、内側に引っかけて絞ります。



8 排水口の掃除

- ① 排水口のフタを取り外します。
 - ② 詰まりの原因となるゴミや髪の毛などをスリッパやピンセットで取り出します。
 - ③ 金物の部分はヤスリで落とします。
 - ④ 歯ブラシやシンナーブラシでしっかり排水口の中をホースで水をかけながら掃除します。
- ※ 道具を落とす可能性があるため、排水口の近くに道具を置かないように注意してください。
- ※ 床が濡れる前の、なるべく早い段階で掃除をしましょう。



9 壁の掃除

10 床の掃除

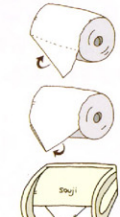
11 水渡し・釣鐘をもどす

- ・水渡しと釣鐘を元の位置に戻します。
- ※ 水渡しフックを用いた際に、割らないように注意しましょう。

12 道具の洗い方

13 備品をもどす・確認

- 掃除場所のトイレの外に運び出しておいた備品を元の位置に戻します。
- ※ トイレトーパーは三角折りをして、ペーパーホルダーに案内します。（これは作業のしるしです）
- ① 床に水分が残っていないか？
 - ② 備品は元あった場所に返されていますか？
 - ③ 窓（ドア）は閉められましたか？
 - ④ 電気は消しましたか？
 - ⑤ 班の表示紙は外しましたか？
 - ⑥ 石けんの手洗いは済みましたか？



14 感想発表

掃除場所のトイレで、班ごとに感想を発表し合います。

※ 食事をやる場合は、その場で発表し合ってもよいでしょう。

15 道具の返却

道具をまとめて、班のメンバーで協力して決められた場所に道具を返却します。

